



第43期 ビジネスレポート

2019年1月1日 ▶ 2019年12月31日

ミズホメディーは
“もっと人のために”をテーマに
皆様から信頼される製品を
開発・提供してまいります。



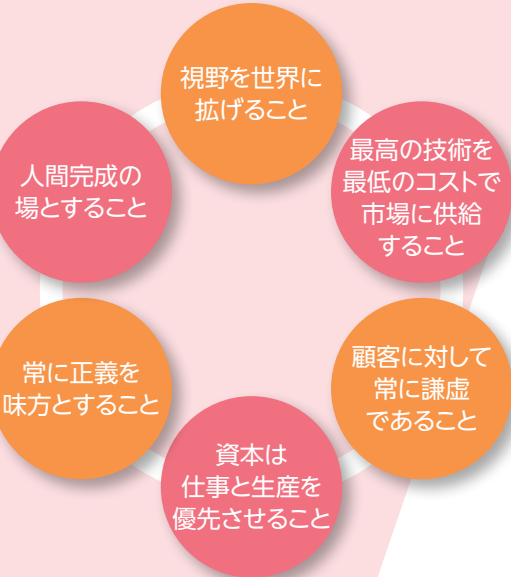
株式会社ミズホメディーとは

ミズホメディーの 運営基本方針

体外診断用医薬品は、著しく急激に進歩し、高度化・専門化しています。お客様に信頼される製品を供給し続けるため、ミズホメディーは

もっと人のために

をテーマに下記の6つの運営基本方針を定め、企画・開発・製造・販売に取り組んでおります。



1.事業内容

医療用及び一般大衆薬分野の双方にて価値ある製品の供給を通じ社会に貢献

企画開発から製造、販売までの自社一貫体制

当社は、主に体外診断用医薬品に関し特許権利取得を視野に独自の研究開発や産学官共同研究を実施しております。また、ISO13485品質マネジメントを骨格とした自社一貫体制を構築し、各組織では有能で経験豊富なスタッフが事業活動を行っております。

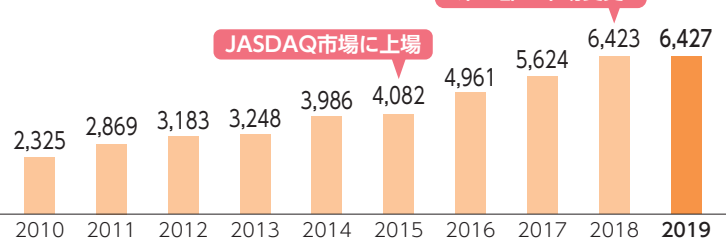
◆ISO13485品質マネジメント



2.業績の推移

持続的成長の実現

◆直近10年間の売上高の推移 (単位：百万円)



病院・開業医分野

診断分野の中でも最も市場規模が大きい免疫血清検査薬が当社の主力製品です。中でもインフルエンザやマイコプラズマ等の感染症の検査薬については、大病院だけでなく中小病院や開業医を中心として市場は拡大しております。当社は、迅速で簡易な検査技術であるイムノクロマト法を用いた多くの製品を含め、PCR法による遺伝子検査技術や高感度検出技術を用いた精度の高い製品を販売しております。

(機器)
全自動遺伝子解析装置 Smart Gene
PCR法(遺伝子増幅法)



(試薬)
スマートジーン Myco
■テストカートリッジ ■検体採取セット



(機器)
クイックチェイサー Immuno Reader II
業界に先駆けて
機器試薬システムの製品化を実現



(試薬)
クイックチェイサー Autoシリーズ
■ Auto Flu A,B ■ Auto Myco ■ Auto StrepA
■ Auto RSV/Adeno ■ Auto Adeno

免疫血清検査薬 **クイックチェイサーシリーズ**
機器を用いない検査薬(全国の様々な医療機関に普及)
■ インフルエンザウイルス ■ ノロウイルス



OTC・その他分野

当社では、OTC検査薬として最も知名度が高い妊娠検査薬を、一般用検査薬として許認可された1992年より販売しております。また、妊娠しやすい時期がわかる排卵日検査薬を全国の薬局・薬店、ドラッグストア等を通して販売しており、昨今、社会問題となっている少子化対策に貢献しております。

P-CHECK・S
99%以上の正確さ、
1分から判定可能、
初めての方でも
簡単に検査できる
妊娠検査薬



ハイトスター
2016年から
武田コンシューマーヘルスケア
株式会社へ排卵日予測検査薬
「ハイトスターH」及び妊娠検査薬
「ハイトスターN」の供給を開始



*OTC(Over The Counter):医師の処方箋がなくても購入できる医薬品で薬局・薬店、ドラッグストアなどでカウンター越しに販売することに由来した名称



昨年の相次ぐ自然災害により被災された 皆様には、心からのお見舞いと 一日も早い復興をお祈り申し上げます。

私たちミズホメディーは「もっと人のために」という理念のもと、皆様方のご期待にお応えすべく、事業の継続的な成長と企業価値の向上に努めてまいりますので、引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役会長兼社長 **唐川 文成**

Q 当期の経営環境や決算のポイントなどについてお聞かせください。

A インフルエンザ流行の急速な終息や新工場の稼働コスト等により増収減益となりました。

インフルエンザウイルスや最近では新型コロナウイルスなどによる感染症の集団発生への対応を背景に、感染症

の早期診断に対する国民の意識は益々高まり、医療への期待は「治療」から「予防」「ケア」へシフトし続けております。特に感染症分野では、早期治療に有用となる診断技術への期待は大きく、新たな技術による微生物検査や遺伝子検査が臨床現場へ普及していく段階の中、その役割はさらに高まっております。

このような環境下、当社は、医療現場からの様々な

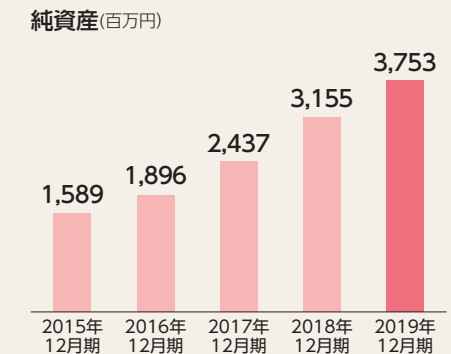
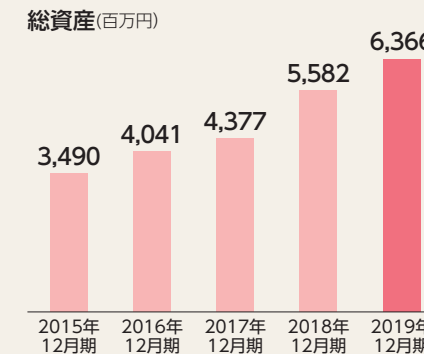
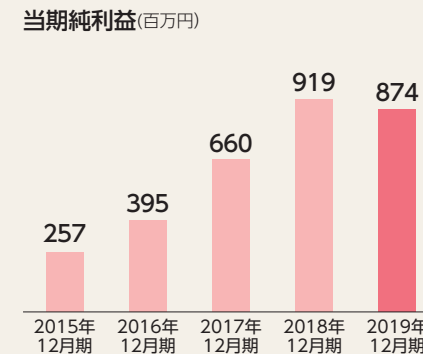
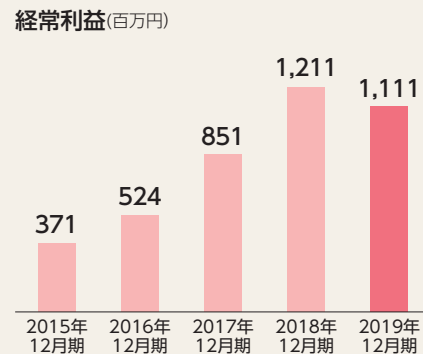
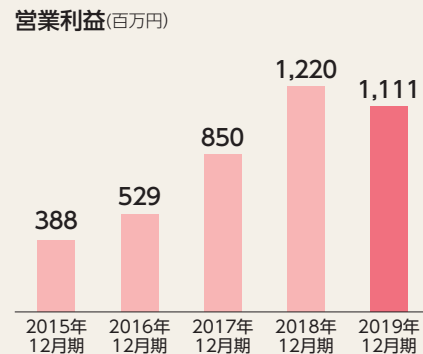
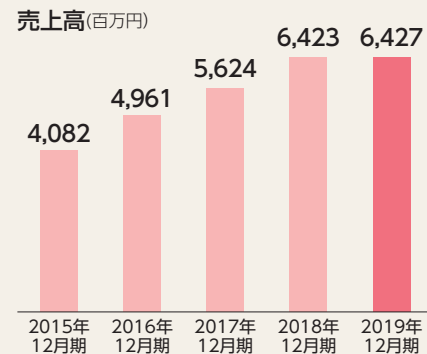
ニーズに応えるPOCT（診療室・病棟及び外来患者向け診療所など患者に近い医療現場での検査）メーカーとして、新しい検査技術や新製品の開発を推進するとともに、既存製品の改善や改良にも尽力してまいりました。また、積極的な営業活動や生産性の向上など、様々な経営施策を継続して推進し、企業価値の向上に取り組んでまいりました。

これらの結果、当期の売上高は64億27百万円（前期比0.1%増）、営業利益は11億11百万円（同9.0%減）、経常利益は11億11百万円（同8.3%減）、当期純利益は8億74百万円（前期比4.9%減）となりました。売上面では、2018/2019シーズンのインフルエンザ流行が急速に終息に向かったこと等が、また利益面では、製品改良に伴うたな卸資産廃棄損の計上、久留米工場・遺伝子研究所の事業開始に伴う一時費用の発生及び減価償却費の増加、輸送コストの増加等が影響する結果となりました。

今後の主な成長戦略

病院・開業医分野	● 簡便、短時間かつ安価な遺伝子POCT検査機器・試薬システムの普及 ● 新たな遺伝子POCT検査項目の開発・製品化に伴うマーケットの拡大 ● スクリーニング検査技術におけるウイルス分野から細菌分野への市場創出（クイックチェイサーシリーズの拡大）など
OTC・その他分野	● 遺伝子POCT技術を応用した環境・食品微生物検査への展開 ● スイッチOTC製品の先発販売 など
その他経営全般	● 自社開発・製造販売一貫体制の強みを徹底追求 ● 「ミズホメディー久留米工場・遺伝子研究所」の本格稼働 など

当期決算ハイライト



Q 昨年9月に稼働を開始した「ミズホメディー久留米工場・遺伝子研究所」についてご紹介ください。

A 遺伝子POCT検査に関わる一大拠点として大きな期待を寄せています。

当社は、福岡県久留米市内の社有地10,010㎡（3,028坪）に2018年9月より延床面積4,660㎡（1,400坪）の2階建て新工場の建設に着手しておりましたが、2019年5月に新工場が完成し、同年9月より新工場での生産を開始いたしました。新工場では、遺伝子解析装置「全自動遺伝子解析装置Smart Gene」のマイコプラズマ核酸キット「スマートジーンMyco」及び感染症迅速診断システムの検査キット「クイックチェイサーAutoシリーズ」を量産しており、当社の生産能力は、新工場建設前に比べ、ほぼ2倍に増強されました。また、近年当社が所在する九州北部地域においては、気候変動によると考えられる集

中豪雨が発生しております。本社工場（佐賀県鳥栖市）と新工場2つの生産拠点の稼働により、集中豪雨等の自然災害による工場浸水被害等のリスクを回避、分散することができるようになり、製品の安定供給が可能となります。また、新工場内には遺伝子POCT検査の研究開発施設を新設、各種感染症の遺伝子検査薬の開発に取り組んでまいります。



■名称
ミズホメディー久留米工場・遺伝子研究所

■所在地
福岡県久留米市藤光町735番地13

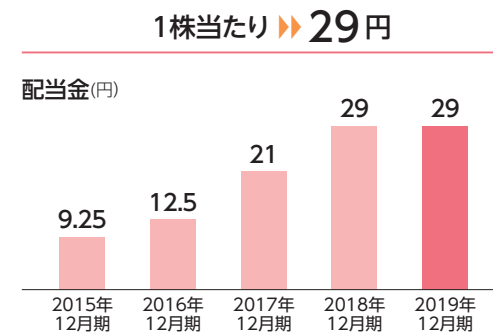
■取得金額
1,200百万円
（建物・附属設備及び工場内設備機械等）

配当方針

当社は、業績に対応した配当を行うことを基本としつつ、配当性向、企業体質の一層の強化及び今後の事業展開に備えるための内部留保の充実などを総合的に勘案して決定する方針を採っております。

この方針に基づき、配当性向30%を目標として配当を実施するよう努めてまいります。

上記方針に基づき、当期の期末配当金は、1株当たり29円とさせていただきます。



Q 来期(2020年12月期)の事業計画並びに業績見通しについて教えてください。

A インフルエンザ流行状況を鑑み、現時点での来期業績予想の算定を見合わせて頂きました。

病院・開業医分野では、主力製品のインフルエンザ検査薬をはじめその他の感染症項目の検査薬のシェアの拡大と、新たな検査項目の製品投入による品揃えの拡充を図ってまいります。また、遺伝子解析装置「全自動遺伝子解析装置Smart Gene」及びマイコプラズマ核酸キット「スマートジーンMyco」につきましては、簡便・短時間かつ安価な遺伝子POCT検査機器・試薬システムの市場創出を推進し、病院や診療所への普及に尽力してまいります。OTC・その他分野では、妊娠検査薬及び排卵日検査薬につきましては、他社との競合が激しい中ではありますが、販促企画や他社製品との差別化を図り、売上高の維持拡大に努めてまいります。

なお、現時点での2019/2020シーズンのインフルエンザ流行の状況については、流行の規模が例年と比べて弱い水準で推移しており、また例年とは異なる傾向を示していることから、今後の流行の推移を予測することが困難な状況にあります。このようなことから売上高の約50%をインフルエンザ検査薬が占める当社では、流行の規模が業績に与える影響の大きさを鑑み、現時点での来期業績予想の合理的算定が困難であると判断いたしました。今後、合理的な算定が可能となった時点で速やかに公表させていただきます。株主の皆様方におかれましては変わらぬご指導とご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。（本レポート作成時現在）

製品トピックス

全自動遺伝子解析装置
Smart Gene
PCR法(遺伝子増幅法)



スマートジーン
Myco



当社は、遺伝子検査をPOCT分野に普及させるため、「感染症領域の遺伝子検査をより身近なものに」をモットーに、独自の遺伝子抽出技術とPCR増幅産物をリアルタイムに検出する技術を原理とした小型の「全自動遺伝子解析装置Smart Gene」システムを開発し、その専用試薬キットマイコプラズマ核酸キット「スマートジーンMyco」と共に同時発売しました。今後新たな試薬キット項目を開発、販売いたします。

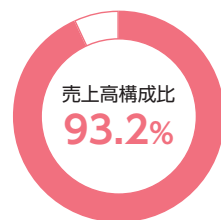
クイックチェイサー 肺炎球菌Ⅱ(2020年1月発売)



クイックチェイサー肺炎球菌Ⅱは、適応拡大により尿検体に加え新たに髄液検体でも検査できるようになりました。

肺炎球菌が髄液から検出される侵襲性感染症（本来無菌環境である部位から起因菌が分離された感染症）については、本キットを使用することが可能となります。2013年4月1日の感染症法施行規則の改正で、侵襲性肺炎球菌感染症は五類感染症として定められており、本感染症と診断した医師は7日以内に最寄りの保健所へ届け出ることが義務付けられています。

病院・開業医分野



2019年度実績
売上高
59億88百万円
(前期比 1.0%増)

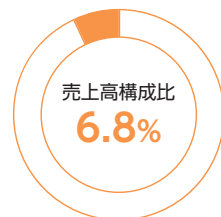
国内外の医療機関向けに、ウイルスや細菌の感染の有無等を診断する遺伝子解析システム「スマートジーン製品」、高感度感染症迅速診断システム「クイックチェイサー Auto シリーズ製品」、迅速簡易キット「クイックチェイサーシリーズ製品」等を販売しており、中でも新たに発売した遺伝子解析システムは中小病院や開業医・クリニックの医療現場においてさらなる売上が期待できます。



当期の概要

- 病院・開業医分野の売上高は前期比1.0%増の59億88百万円
- インフルエンザ検査薬の売上高は、流行自体は強かったものの急速に終息したことから、前期比3.3%減の31億96百万円
- RSV/ヒトメタニューモウイルス検査薬等のその他感染症項目の検査薬も概ね増収基調を継続
- 前期に発売を開始した遺伝子POCT検査の機器・試薬も売上増に貢献

OTC・その他分野



2019年度実績
売上高
4億38百万円
(前期比 10.9%減)

OTC分野では、妊娠検査薬「P-チェック・S」を自社ブランド製品として販売し、ドラッグストアのプライベートブランド製品としても「S-チェッカー」「プレセルフ」等の製品名で販売しております。また、妊娠しやすい時期を的確に予測する排卵日検査薬「P-チェック・LH」も主力製品の1つです。その他分野では、農作物の苗木などのウイルス病を見つけるため、免疫血清検査薬の技術を応用した果樹ウイルス検査薬を農業試験場等へ販売しております。



当期の概要

- OTC・その他分野の売上高は前期比10.9%減の4億38百万円
- 妊娠検査薬及び排卵日検査薬は、価格競争が続く中で販促企画等により売上高の維持に努めるものの苦戦

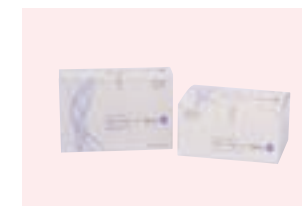
病院・開業医分野 主な製品のご紹介

Smart Gene PCR法(遺伝子増幅法)



開業医・クリニックでも検査可能な遺伝子解析装置です。

マイコプラズマ核酸キット



遺伝子解析装置の専用のマイコプラズマ核酸検出試薬です。

感染症迅速診断システム



高感度及び自動検出の実現により客観的な判定が可能です。

研究用試薬

多剤耐性菌の検出で院内感染伝播の迅速な監視などに役立っています。

一般検査用試薬

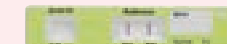
便潜血検査などがあります。

クイックチェイサーシリーズ

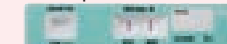
■ Flu A,B



■ Adeno



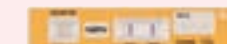
■ Strep A



■ RSV/hMPV



■ hMPV



■ Myco



■ 肺炎球菌II



■ 肺炎球菌/レジオネラ



■ H. ピロリ



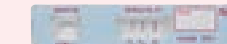
■ Noro



■ Rota/Adeno



■ 便潜血

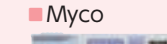


クイックチェイサー Auto シリーズ

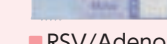
■ Flu A,B



■ Myco



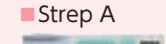
■ RSV/Adeno



■ Adeno



■ Strep A



OTC・その他分野 主な製品のご紹介

妊娠検査薬P-チェック・S



99%以上の正確さで1分から判定可能です。また生理予定日の1週間後から検査可能で、朝/昼/夜いつの尿でも検査ができます。

排卵日検査薬P-チェック・LH



独自の特許技術により、低域から高域まで幅広くLHの増加を検出します。最も妊娠しやすい時期が約1日前に分かります。

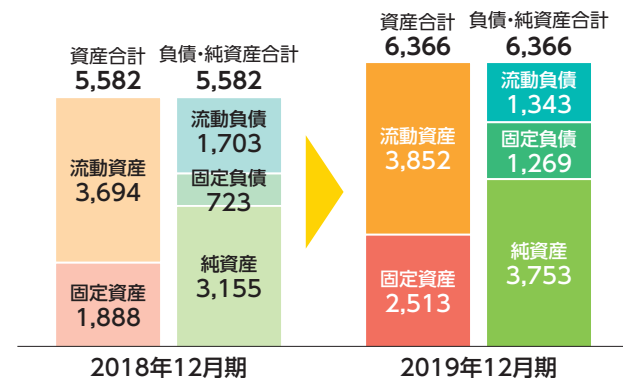
農業分野向け製品



農林水産省高度化事業の共同研究成果として、カンキツ栽培における温州萎縮ウイルス感染を15分で迅速診断する「SDVクロマト」を販売しております。

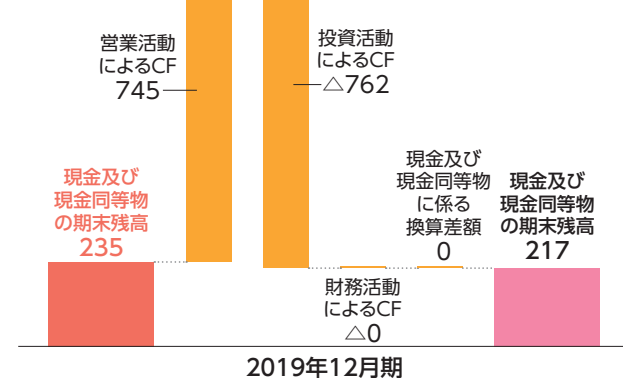
◆ 財政状態の概要

(単位：百万円)



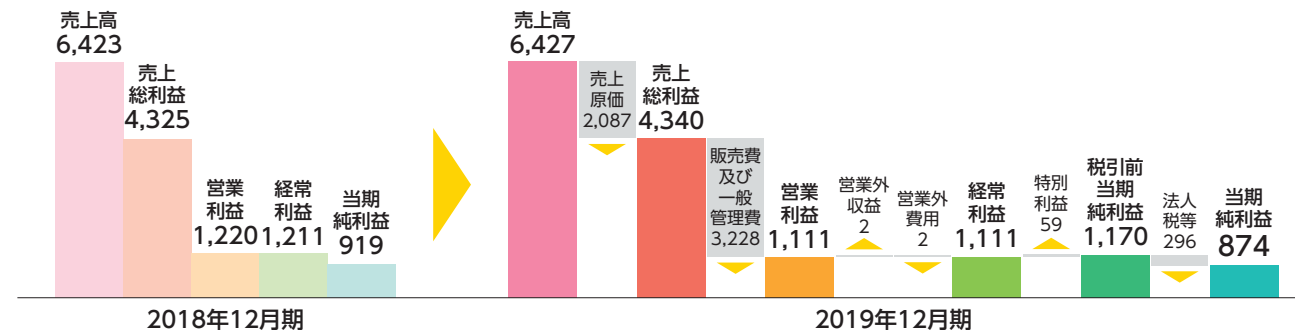
◆ キャッシュ・フローの概要

(単位：百万円)



◆ 損益の概要

(単位：百万円)



財務諸表分析

- 売上構成の変化に伴い売上原価率は0.2ポイント改善しました。なお、久留米工場・遺伝子研究所の設置に伴う補助金収入59百万円を特別利益に計上しています。
- 長期借入金は5億75百万円増加するも、短期借入金の減少3億円や利益剰余金の積み増し5億98百万円により、自己資本比率は2.5ポイントアップし59.0%となりました。
- 営業CFは、売上債権の増加等によるCF減少はあったものの、税引前当期純利益11億70百万円などにより、7億45百万円増加しました。投資CFは、主に新工場に係る有形固定資産の取得により、7億62百万円減少しました。

◆ 会社概要

本社 佐賀県鳥栖市藤木町5番地の4
 設立 1977年11月2日
 資本金 4億6,454万円
 代表者 代表取締役会長兼社長 唐川文成
 従業員数 175名

◆ 役員 (2020年3月27日現在)

代表取締役会長兼社長 唐川 文成
 常務取締役 今村 正
 取締役 市丸 和広
 取締役 佐々木 寛
 取締役 檜原 謙次
 取締役 神原 俊夫
 取締役(社外) 佐々木 克
 取締役(社外) 秋山 伸一
 常勤監査役 川崎 宏隆
 監査役(社外) 重見 亘彦
 監査役(社外) 橋本 高吉

◆ ネットワーク



◆ 株式の状況

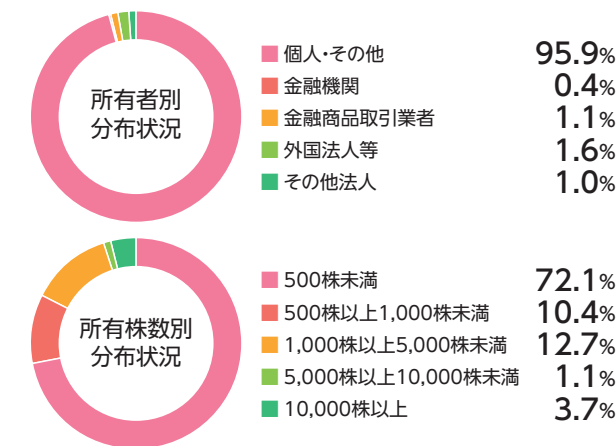
発行可能株式総数 33,840,000株
 発行済株式総数 9,525,600株
 株主数 2,015名

◆ 大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
唐川 文成	3,394	35.64
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	878	9.22
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	503	5.28
ミズホメディー社員持株会	430	4.51
野村信託銀行株式会社(投信口)	342	3.59
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505019	268	2.81
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	207	2.17
株式会社西日本シティ銀行	200	2.09
立石 貞則	192	2.01
SMBC日興証券株式会社	175	1.84

(注) 持株比率は、自己株式(1,018株)を控除して計算しております。

◆ 所有者別分布状況／所有株数別分布状況



ミズホメディー IR情報

当社WebサイトのIR情報ページでは、決算情報などのIR関連情報をタイムリーに配信しております。また、株主・投資家の皆様専用のお問い合わせフォームもございますので、お気軽にご利用ください。



ミズホメディー IR

検索

https://www.mizuho-m.co.jp/ir/ir_contact

IRメール配信のお知らせ

当社では、株主・投資家の皆様向けにIRメールを配信しています。配信をご希望の方は、下記アドレスから簡単にご登録(無料)いただけます。

<https://rims.tr.mufg.jp/?sn=4595>

※IRメール配信サービスは、三菱UFJ信託銀行株式会社が運営しています。



◆ 株主メモ

事業年度 1月1日～12月31日

期末配当金受領
株主確定日 12月31日

定時株主総会 毎年3月中

株主名簿管理人
特別口座 口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
☎ 0120-232-711 (フリーダイヤル)
(郵送先)
〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上 場 証 券 取 引 所 東京証券取引所市場第二部
(証券コード:4595)

公 告 の 方 法 電子公告により行います。
公告掲載URL
<https://www.mizuho-m.co.jp/ir/notice.html>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします。)

このビジネスレポートに記載されている業績予想等の将来に関する事項は、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づくものであります。実際の業績等は予想しない経済状況の変化をはじめ、様々な要因により異なる結果となり得ることをご承知おきください。また、医薬品に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告や医学的アドバイスを目的としているものではありません。

 株式会社 ミズホメディー

〒841-0048 佐賀県鳥栖市藤木町5番地の4

TEL : 0942-85-0303

FAX : 0942-85-0312

UD
FONT

